

放送日 平成29年9月1日(金)

担当者 税務課長 米川 鉄也

おはようございます。税務課長の米川です。

2回目となる今回は、税務課を通じた組織運営などについてお話ししたいと思います。

税務課は、27名のうち16名が20代と、庁内で最も世代交代が進んでいる部署で、皆、個性豊かな職員です。

私が、組織運営で常に心掛けているのは、一人一人が輝きながら仕事に向かうにはどんな職場環境が良いのかということです。

税務課の主役は私ではありません。課の職員一人一人が主役です。私が4年間課長でいられるのも、彼らが一生懸命仕事に励んでくれるお蔭です。

私の考え方のベースは、コーチングです。悩みや迷いに対する答えは全て自分の中にあるというもので、その答えを導き引き出す役目が自分の仕事だと思っています。

27名の人格が違う中、それぞれの個性や考えを尊重し、頭から否定せず、必要以上にジャッジせず、気づきを促すことが今の税務課では一番有効と感じています。

そして、その方向性を示すものとして、今年も課の姿勢、心構えを「正しく早く」と「前へ」とさせてもらいました。

最後に、コミュニケーションの手段として誰もが認識している「挨拶」ですが、このほかに「私にとってあなたは大切な人です」という意思表示の意味もあります。

私にとって、税務課の一人一人が大切ですから全員に挨拶をします。それと同時に同じフロアの企画財政部へも挨拶をし、自分の中で大切な範囲を広げています。

皆さんも、「挨拶の輪」を広げて下さい。見えないものが見え、感じなかったものが感じるようになります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月4日(月)
担当者 防災・庁舎建設課長 及川 浩司

おはようございます。防災庁舎建設課課長の及川です。

今朝は、私が子供の頃から住んでいる北広島団地について少しお話しさせていただきます。私は昭和47年小学校2年生の時に札幌から若葉町に引っ越してきて、かれこれ45年になります。45年前の団地の姿を知っている職員も大分少なくなってきましたので、特に若い職員の皆さんにお伝えしたいと思います。当時の団地は中央通や広葉通も舗装されておらず、砂利道であり、UR若葉公団もまだ無く、週末には亡き父がドライバー片手に広々と開けた空き地に向かってティーショットの練習をしていた姿が大変懐かしく思います。お店は先月解体された広葉ストアしかなく、郵便局もなかったので、母は雪道を歩いて市街の元町郵便局まで用事をたしに行っておりました。そんな何も無い不便な団地でしたが、ものすごい勢いで家が建ち、毎週月曜の朝にはクラスに4~5人ずつ転入生が入り、名前を覚えるのが大変だったことを覚えています。そして頻繁にクラス分けが行われ、教室不足により、音楽室や理科室までも一般教室として使用していました。それでも増え続ける生徒を吸収しきれず、旧広葉小に続いて旧若葉小、旧高台小、最後に旧緑陽小が開校し、体育館の建築も間に合わない中、体育の授業にいたっては廊下で受ける有様でした。そのような訳で、団地の公園や空き地、道路には子供たちが溢れ、毎日夕方遅くまで草野球や缶蹴りに興じる子供達の歓声が響いていたことを記憶しております。大人達も日に日に整備され、発展していく団地での生活を日々の忙しさに追われながらも、明るい未来を想像しながら、活気に満ちて生活をおくっておりました。そんな団地も現在では、歓声をあげて遊んでいた世代が私達の年齢となり、親世代は後期高齢世代を迎え、めっきりと子供の数も減り、所々空き家も目につくようになり、団地全体の活気が失われてしまったことが残念でなりません。自分の市役所人生も残り一桁代となった今、機会がありましたら、是非若い世代の皆さんと一緒に考え行動し、北広島団地にもう一度活気を取り戻すための仕事に携わりたいと思っています。もし、そういう機会に恵まれることがありましたら、力を貸していただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月5日(火)
担当者 参事(防衛担当) 杉本 雅弘

おはようございます。防衛を担当しております参事の杉本です。本日は私の業務についてお話させていただきます。

主な業務は、防衛補助事業の事務手続等に関する連絡調整業務です。

ご参考にご参考、本市が防衛補助を受けることができるかと言いますと、市の三島方面に所在しております。陸上自衛隊北海道大演習場により生じる障害(騒音等)の緩和を図るため「防衛施設周辺的生活環境の整備に関する法律」に基づき、適用補助項目を受けるため防衛省へ補助申請等を行なっているからです。

なお、補助金の事業採択には、国の会計制度上早くて2年程期間が必要です。補助率は国交省等と比較しても高率でありますので、本市の財源の確保等の観点から国の補助金を有効に活用するため、各種の事業計画を進めているところです。今年度の事業は、市役所の新庁舎・保健センターの建設費約47億円の内約10億円が補助金を受けております。更に、大曲ファミリー体育館改修、道路の輪厚中央通、同公園、各小学校のボイラー換装工事等を防衛の補助事業を受けて進めております。なお、他の自治体も同様に活用しております。

また、補助金とは別に特定防衛施設周辺整備調整交付金を本市は毎年約1億円の交付を受けて、新富西8番線等の道路、除雪車、学校放送施設等に活用しながら市民生活環境の整備をしております。なお、他の自治体は基金化しながら活用をしております。私は、これらの業務を円滑にすすめるために、補助金交付官庁の北海道防衛局と事業計画、事業執行及び会計検査等の連絡調整等行っておりますので、補助を検討される場合はお気軽にお話に来てください。お待ちしております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月6日(水)
担当者 総務部派遣課長 阿部 泰洋

おはようございます。総務部付課長の阿部です。

今日は、結びの言葉にもある「あいさつ」について、お話ししたいと思います。

私は、趣味の一つとして、年に数回、山登りを楽しんでいます。最近は、登山ブームと言われるほど多くの方が山登りを楽しんでいます。最近、緑の森の中やきれいな川沿いの道を歩くことで、気分転換やストレス解消にもなり、プライベート時間の充実につながっています。

そして、この山登りの途中、登山道で山に登る人と、山を下りる人がすれ違うときに、「こんにちは」とあいさつを交わします。あいさつをきっかけに、山の頂上の天気や熊の出没などの情報交換をすることもあり、わずかな時間ですが、笑顔で元気よくあいさつをされると、とても気持ちがよく、足の疲れも軽くなる感じがします。

この「あいさつ」には、「相手の存在を認めています」ということを相手に伝える効果があると言われていています。

職場での職員同士のあいさつは、同じチームの仲間ですという表現として、市民の方々へのあいさつは、これからお話をお聞きして、しっかり対応させていただきますという心構えを表すものになると思います。

山登りのときだけではなく、職場においても、丁寧なあいさつを心がけて、日々の業務を行っていかうと思っています。

それでは、結びの言葉です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月7日(木)

担当者 市民課長 榎本 明嘉

おはようございます。市民課長の榎本です。

朝の挨拶の時間ではありませんが、先月21日に死去されました池野政敏さんのご冥福をあらためて皆さんとお祈りしたいと思います。

倒れられた5日の前々日まで、私の目の前の席で普通に業務にあたっていましたし、普段から体調の不良などを訴えていた方ではなかったことから、7日の家族からの突然の入院の連絡には大変驚きました。

7日に手術が行なわれましたが、残念ながら21日に帰らぬ人となってしまいました。

同年代の私も含め、職員の皆さんも日々の健康管理には十分に気を付けていただきたいと思います。

さて、前回のスピーチは昨年6月でしたが、市民課の業務と特性などをお話しさせていただきました。

今回も昨年と同様、市民課長としてお話をさせていただきます。

市民課等の業務においては昨年との大きな違いはありませんが、一番の違いはなんと言っても、新庁舎での窓口対応が行えているところだと思います。

皆さんもお気づきの事と思いますが、戸籍、住基・マイナンバー担当の窓口には、窓口案内システムの導入により、来庁された方がどのような目的で来られたかをタッチパネルを利用し意思表示できるとともに、待合の順番を確保できるものとなっています。これにより、来庁された方は職員との接触前に自らの存在を示すことができ、安心した待合が可能となりました。

職員側では、どのような目的をもった来庁者が受付を待っているかが判断でき、適切な職員による対応が可能となりましたし、手続きの種類や見込まれる所要時間によって、ローカウンターとハイカウンターを使い分け、来庁者の利便性やプライバシーに配慮した対応が可能となりました。

また、待合スペースが十分確保されたことにより混雑時の待合にも配慮ができています。

前回もお話をしましたが、市民課は直接市民と接する市役所の中でも市民に一番近い業務を担っている部署だと考えています。

新庁舎の建設により施設的な環境は確保されましたが、最も大事なものは「人」であると認識しています。

今お話しした設備機器もそれを活用するのは来庁者であり職員です。どんなに便利な機器が整備されても、求められている業務を確実にこなすことや、人と接するときの気持ちや態度が重要であると思っていますし、市民の皆さんにとってもそれが印象に残るものと思います。

市民課を含め出先機関においても、正職員の他、多くの非常勤職員等の皆さんにサポートしていただいています。

特に戸籍、住基関係に携わる非常勤職員の皆さんは、女性特有のソフトな対応で来庁者に接していただいています。

戸籍や住民記録を管理する担当も、地域とのコミュニティや交通安全・防犯活動を担う担当においても、市民目線での対応と、フットワーク良く取り組む姿勢が大事となります。

このようなことから、市民課では市役所の顔であるということをいつも認識し、市民対応ができるよう努めるとともに、新庁舎の器に負けない職員でいられるよう今後も課員一同頑張っていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月8日(金)
担当者 西部出張所長 佐々木 正範

皆さん、おはようございます。この4月から西部出張所所長を命ぜられました佐々木正範です。

出張所勤務となって5か月が経ちますが、これだけどっぷりと地域に浸かるのは、今までに無い経験であり、勤続38年目にしてとても新鮮な気分です。浸かり過ぎて先月の夏祭りでは、自分が私的に所属する団体の仲間と共にステージ出演し、公私混同となってしまいました。

西部出張所は、3出張所の中で一番歴史があり、来年で開所70年となります。当時の農村青年同盟が軸となり地域住民が一致団結し開所につなげたと聞いています。そういう経緯があるためか、住民同士のつながりが深く、実に様々な団体が様々な事業を主体的に展開し、老いも若きも元気に溢れています。

まちづくりの観点から見ると「行政主導型」でもなく「行政と市民の協働型」とも少し違う「市民主導型」のまちづくりが実践されている地域だとつくづく感じます。

行政は個々のニーズに応えるには限界があることから、どうしても標準的、平均的なニーズに応えがちとなり、斬新さに欠ける傾向があります。市民からすれば、所詮役所の決めたこととなり、なかなか満足感が得られません。対して、市民主導型のまちづくりは、市民自らが企画運営することで、達成感や満足感が得られるとともに横のつながりが増え、地域の活性化につながります。市民が主導して、行政が裏方に回るまちづくりもありかなと思います。

せっかくですので、最後に一言。

出張所で取り扱う申請等は、ゆりかごから墓場関係、動物から車両関係等々ゆうに200を超え、区役所のような総合出先機関となっています。さらに、一つの窓口で全て対応するため、究極のワンストップサービスとなっています。ところがその実態は、種別が多すぎて正直、細かく覚えきれません。ついつい本庁の担当者に聞きながらの対応となりますので、ご容赦ください。その節は、市民のためと思い、優しく教えてください。

挨拶には、相手を認めるという力があります。人は認められると喜びを感じ、元気になると思います。

さあ、今日も1日明るく笑顔の挨拶で、職場さらには市民に元気をもたらし、誰もが住みたいまちづくりを進めましょう。

放送日 平成29年9月11日(月)
担当者 大曲出張所長 安田 将人

おはようございます。大曲出張所長の安田です。

そろそろ季節は秋を迎えていますので、今日は、少しでも芸術に触れた時の話からさせていただきます。

少し前のことになりますが、市外のギャラリーで、絵画や彫刻、書道など公募作品の展示を見る機会がありました。

会場にはバラエティに富んだ作品が並んでいました。特に絵画の出品が多く、もちろん題材も色々なのですが、描き方が実に様々で、力強さ、華やかさ、壮大さなど、一つ一つの作品に他とは違う主張があるように思えました。ただ、たくさんの作品を見たこともあって、一通り見終わった後には、個々の素晴らしさもさる事ながら、総じて「人の個性というのはまさに多様だ」という思いが強く残りました。また、「同じ作品でも別人が見ると違う印象を受けるのだろう」ということを考えていました。

その展示会で感じたことは、実は業務にも結び付くのではないかと考えています。出張所に来られる方は用件も年代も様々で、こちらの対応をどのように感じ、受け止められているかは、当然ながら一様ではありません。そのことを踏まえた上で、来所された方の思いを押し量り、満足していただける仕事を心がけたいと考えます。

これから市内の各地域で文化祭などが行われると思います。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月12日(火)

担当者 環境課長 志村 敦

おはようございます。環境課長の志村 敦です。

私たち環境課は、自然と創造の調和した豊かな都市『北広島』の緑多き環境を市や市民の皆様の財産として、守り、育み、未来に伝えていくことを最大の使命とした17人の職員で構成され、日々公務に励んでおります。

仕事や人生経験も多く積まれた諸先輩や第一線をリードする中堅世代のほか、これからの北広島を大いに担って頂く若い職員も多く、学んで頂くことも多いとは思いますが、逆に新しい考え方を学ばせてもらうこともあり、触発の連続が課のレベル向上に繋がっております。

明るく活気にあふれた職場であるとともに、有害鳥獣や油漏れなど緊急的な対応業務を始め、様々な案件に対し、スタッフの垣根を越えて一致団結して迅速に現場に向かうなど、最高のメンバーに恵まれていることに私自身、大変感謝しておりますとともに、特に若い職員に対しては、最高の人材に育てて頂くこと念頭に、私自身が日々努めてまいりたいと決意しております。

環境課では、昨年から引き続き実施している早朝のごみステーション啓発やごみ処理料金の改定のほか、「ピュアな生ごみを！」をモットーに生ごみ回収の向上を目指して春から事業所を訪問してきたところ、少しずつではありますが、回収量の増加が見え始めてきました。

11月からは、さらなるごみの減量化・資源化に向けて、普通ごみとして廃棄されていたティッシュなどをミックスペーパーとして回収し、紙資源の再生化に繋げていく事業を実施することとなりました。

多くの市民の皆様からのご理解とご協力を頂き、ごみの減量化、資源化を推進してまいりたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月13日(水)
担当者 西の里出張所長 棚田 吉浩

おはようございます。西の里出張所の棚田です。

西の里出張所は、西の里公民館に併設されており、毎日地域の皆さんが訪れます。公民館では、日替わりでマージャンやカラオケ、陶芸やヨガなどのサークル活動に集まる人、図書室で本を借りる人、午後からは学童クラブの子どもたちの賑やかな声が聞こえています。

出張所は、市役所業務の地域の窓口として、諸届や住民票などの申請、使用料・手数料を納めにきます。毎日、地域のお年寄りや障害のある方などが訪れ、ときには、心配ごとや悩みごとの相談もあります。

西の里地区は、昭和62年度にノーマライゼーションエリア推進事業のモデルとして北海道から指定を受け、現在も北海道リハビリをはじめとする多くの社会福祉施設があり、障がい者と健常者のふれあいや交流がさまざまな事業の中で行われている地域です。

今年も8月12日・13日には、地域の一大イベントとなる「第39回西の里地区夏祭り」が盛大に開催されました。初日は、あいにくの雨模様でしたが、夕方のオープニングセレモニーからは雨もあがり、毎年恒例の花火大会や盆踊り、お楽しみ抽選会に歓声が上がっていました。お祭りのテーマである「住民相互のふれあいと子どもたちの郷土愛を育む」のとおり、子どもたちやおじいちゃん、おばあちゃん、障がい者と健常者のふれあいが、この地域にはしっかりと根付かれ、助け合いや優しさにあふれる、そんな言葉が似合う地域です。

西の里地区は今日も元気です。

まちの元気は地域が作ります。地域の元気は市民が作ります。元気なまちには活気があります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月14日(木)

担当者 福祉課長 奥山 衛

おはようございます。福祉課長の奥山 衛です。

私は、昭和60年4月、当時の広島町に採用され、多くの上司、同僚、部下の職員の皆さんに支えられながら、なんとか、今年で32年余りが経過しました。

年々、体力の衰えを感じながらの日々ですが、自分なりに、週末にはジョギングを行うなどして、健康管理に努めています。

これでも、40代までは、体を動かすことが好きで、子どもの頃から親しんできた野球をはじめ、多くの団体スポーツなどを楽しんできましたし、20代には、スポーツではありませんが、まちづくりの活動として、職場や市内の民間企業の仲間と共に、仕事とは別の形で、イベントや野外コンサートなどを、企画・実施した時期もありました。もちろん、本業の仕事も一生懸命にしてきましたが、この若い時期の活動は、現在の大きな財産となっています。スポーツの多くは、勝つために、日々練習などを行うわけですが、共に一つの目標に向かってきた日々は、チームメイトや時には相手チームの選手とも強い絆を築きます。また、イベントなどの実施には、マスメディア、イベンター、飲食業界の方など、業務上では交流できない異業種の方々との様々なパイプができ、これは、知識・技能がない私にとって、予想もしない場面で、現在、仕事などにも多く役立っています。ここ数年は、多くの新規採用の職員の皆さんが入庁され、市民のために全力で日々の仕事に邁進していることと思いますが、是非、心身ともに充実しているこの時期に、業務以外の様々な活動などにも意識して挑戦してみてください。将来、きっと大きな財産になるはず
です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月15日(金)
担当者 高齢者支援課長 三上 勤也

おはようございます。高齢者支援課長の三上勤也です。

私は、以前からパピーウォーカーに関心があり、いつか実行したいと考えており、妻と一緒に北海道盲導犬協会に行き担当者の説明を聞いてきたことがあります。

パピーウォーカーとは、盲導犬候補の仔犬を生後50日くらいから約1年間、家族と一緒に生活し、たくさんの愛情を注ぐことにより、人への信頼感を与え、また、時には厳しく躾けし、人間社会で生活するためのルールを学ばせる役目のことです。

パピーウォーカーの家庭での養育期間終了後、盲導犬協会での厳しい訓練の後、盲導犬としての適正に関する評価を受け、合格するとデビューすることになりますが、その確率は50%くらいだそうです。盲導犬としてデビューできるかどうかは、その犬の持って生まれた資質によって左右されますが、幼少期の過ごし方も大きく影響するため、パピーウォーカーの責任は重大です。

盲導犬としての活動が困難と判断された場合は、希望者に引き取られ、ペットとして一生を過ごすことになりますが、その場合は、パピーウォーカーの家庭に優先権が与えられることになります。また、盲導犬として活動できるのは12歳くらいまでですが、引退後にパピーウォーカーの家庭に戻り、最期を迎える犬も少なくないそうです。

我が家は、妻も仕事をしていて、日中は家に誰もいない時間が長いので、責任を持って預かることができないため、どちらかが退職するまで実行できないと思いますが、生後50日から一緒に過ごし、盲導犬としての活動を終えた後、再度、引き取って、最期を看取ることを目標にしたいと考えています。

いつか、ラブラドルレトリバーと一緒に散歩をしている私の姿を見かけたら、実行することができたと思っていただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月19日(火)

担当者 参事(高齢者・障がい者相談担当) 柄澤 尚江

おはようございます。高齢者・障がい者相談担当参事の柄澤です。この部署は名前のとおり、高齢者や障がい者の様々な相談に対し、制度や組織の縦割りではなく横断的な支援体制を構築していくための新たな部署です。市役所内で横系のような役割を果たしていきたいと思っておりますので、職員の皆さんが窓口などでちょっと気にかかる高齢の方や障がいのありそうな方などがいましたら、ぜひ私や相談担当のスタッフにつないでください。

私自身は、相談の内容が困難であるほどやりがいを感じるほうですが、それは個人の努力や力量で乗りこえられているのではなく、共に悩み、考えてくれる仲間がいてのことです。身近なところでは、保健師や社会福祉士等の専門職もいますし、親身になって考えてくれる事務職も頼りにしています。もうひとつ、私は、昨年1月から全国精神保健福祉相談員会という、全国の自治体職員で構成する会員200名程度の任意団体の理事をさせていただいています。都道府県や全国の各市町村で精神保健福祉業務に携わる色々な立場や年齢、職種の方々と顔見知りになり、困った時には高度で専門的なアドバイスを受けることができるようになりました。理事として、精神保健福祉法の改正などに向けた国の動きに対し、市町村の現場で起きている課題を間接的にですが伝えることをしています。また、来年2月に横浜で開催される相談員会主催の全国研修会では、私が北広島市の相談支援について実践報告をさせていただくことになっています。このように全国の同じような立場の方々ともつながり、苦労を分かち合えることも、私が心折れることなく相談業務に従事できている要因であると思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月20日(水)
担当者 健康推進課長 尾崎 英輝

おはようございます。健康推進課長の尾崎です。

突然ですが、みなさん元気ですか。「何となく身体がだるい」「イライラする」「食欲がない」「仕事に行きたくない」病気でもないのに、身体は疲れていないはずなのにこんな症状が出るのは、心が疲れているのかもしれませんが。

心の健康は、人が生き生きと自分らしく生きていくためにとても重要です。しかし、仕事をしていると多かれ少なかれストレスは感じるものです。「仕事量が多い」「仕事が自分に合わない」「合わない人がいる」などストレスは様々で、感じ方や受け止め方も人によって違います。心の健康を保つために、適度な運動やバランスの良い食事、十分な休養でストレス耐性を高め、ストレスに上手に対処しなくてはなりません。

ストレスへの対処は、モノの見方や考え方を变えることで感情を上手くコントロールすること、周りにサポートを求めることもとても大切ですが、時には逃げてしまうことも必要だと思います。逃げることは恥と感じてしまうかもしれませんが、心が疲れ切ってしまうのは元も子もありません。逃げるは恥だが役に立つんです。

心が健康でなければ、気持ちの良い挨拶も親切的な市民対応もできません。皆さんの周りでも遅刻や欠勤が増えたり、元気がない等、何かいつもと様子が違うと感じる職場の仲間がいるならば、声をかけてあげたり、必要なら職員課の臨床心理士につなげることも重要です。そうすることで、その仲間は、心の健康を取り戻すことが出来るかもしれません。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月21日(木)
担当者 保険年金課長 渡辺 広樹

おはようございます。保険年金課長の渡辺広樹です。

本日は、私の好きなスポーツである卓球競技について、お話しさせていただきます。私が学生の時、卓球は世界的に見ても、今ほどメジャーな競技ではありませんでした。ところが近年はどうでしょう。今年、世界卓球選手権ドイツ大会がテレビで放映され、日本選手が混合ダブルスで48年ぶりに金メダルを獲得し、男子ダブルスでは銀と銅、女子シングルスで銅と素晴らしい活躍でした。また、「チョレイ」の掛け声とともに史上最年少で8強入りをした張本選手が話題になっていました。

このように注目される競技となった要因として、ルール変更による競技自体の変革があったものと考えられています。当時のサーブはフリーハンドでインパクトを隠し見えにくくして、サーブのみでの得点や3球目攻撃による決定率が物凄く高いものでした。また、21点という長いゲーム時間によって見る側が飽きる要因を11点先取にすることでゲームの序盤から緊迫感のあるゲームをさせること、そして最も大きな影響を与えたのは38ミリのボールを40ミリに変更したことです。ボールを大きくしたことでラリーが続きやすくなり、見ごたえするようになりました。しかし、選手にとってルールが改正されることで、これまでとは異なった用具の使用やプレイをしなければならなくなり、大変なことであります。しかし、これは卓球競技に限ったことではありません。私たち職員においても業務を行う上で、法律や条例、規則等が、改正された場合、その内容を理解し正しく順応しなければなりません。私は、卓球ではなかなか順応できないでいますが、仕事では順応するようにしています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月22日(金)

担当者 保育課長 高橋 陽子

おはようございます。保育課長の高橋陽子です。

今朝は、健康管理についてお話をさせていただきます。

私は、入庁して今年21年目で、さまざまな体調不良が起こりやすい年齢になってきました。

20代~30代のころ、部署にもよりましたが、若さと体力に任せて残業をし、生活は不規則で、深夜に帰宅してから、炭水化物や脂質中心の食事をとることも少なくありませんでした。当然運動も不足していました。忙しいことを理由に、生活が雑になっていました。

40歳に近づくとつれ、疲れの取れにくさを感じはじめていたころ、人間ドックをきっかけに不調が見つかり、医師から、食事習慣を見直して体重を減らすよう指導されました。今は、炭水化物を少なめにし、調理方法を工夫して、いろいろな種類の野菜や旬のものを食べるよう心掛けています。無理がない範囲で体重を減らしていきたいと思っています。

今回のことで、これまでの生活を振り返り、健康を維持管理するため、限られた時間の中でもメリハリを持って仕事と生活の切り換えをすることが欠かせないと実感しました。仕事が忙しくても、自分で気持ちを切り替えて、毎日の生活をしっかりすることで、今後の健康維持に努めていきたいと思えます。

自分の健康は自分で守るしかありません。健康が全てではないが、健康を失うとすべてを失うという格言があるそうです。職員の皆さんは大丈夫だと思いますが、良い仕事をするためにも、無理を重ねることなく、健康の維持管理に努めてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月25日(月)

担当者 参事(子育て担当) 織田 波香

おはようございます。子育て担当参事と、地域子育て支援センター長も兼務している織田です。

6月10日に地域子育て支援センターあいあい、移転オープンいたしました。当日は440人の親子の方々が訪れ、オープンを待ち望んでいた事が伺え嬉しく思いました。

同じ市役所にいながら、まだあいあいの事を知らない方もいらっしゃるので、本日はあいあいの事をお伝えさせていただきます。利用対象の方は、就学前の子と保護者となります。活動室は、赤ちゃんコーナー、木のおもちゃやままごとなどで遊べるコーナー、オリジナルチャレンジ遊具など全身を使って遊べるコーナーに分かれています。約3,000冊が並ぶ絵本コーナーや夏には水遊び、砂場遊びができるプレイロットもあります。

絵本の貸出や持参したお弁当を食べることもできます。

8月末までのみんなの広場の新規登録者数は2343人で、1日平均約80人の利用があり、その内2割の方は市外からいらしています。祖父母の方やお父さんなど、沢山の方々に遊びに来ていただいています。

あいあいでは、毎日初めての出会いがあります。「おはようございます」「こんにちは」の挨拶には笑顔を忘れずに。笑顔は人を安心させる魔法。挨拶はコミュニケーションのきっかけとなります。0歳の赤ちゃんも思わずニコツとしてくれた時は、私達も元気をもらえます。

これからも、地域子育て支援センターあいあい、子育て中の親子の方々が「笑顔で出会い、つながり、ともに育ちあう場」となっていける子育て施設としていきたいと思ひます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月26日(火)
担当者 すみれ保育園長 塚崎 智美

おはようございます。すみれ保育園園長の塚崎です。

8月19日、土曜日。すみれ保育園の横にある集会場の駐車場で、第1住区社会福祉委員会主催の夏祭りが開催されました。勇太鼓の勇壮な演奏が、オープニングを盛り上げ、小学生のチアダンス、スイカ割りなど子どもを中心とした催し物が盛りだくさんでした。その1月前、委員の方が開催する夏祭りのポスターを持参し、来園されました。その時、「この地区は高齢化が進み、子ども達も減り寂しくなっていたけれど、最近は新しい家が建ち始め、小さい子どもも増えてきました。普段交流のない世代が、少しでも触れ合う機会となるよう、祭りでは20数年ぶりに子ども盆踊りを復活して行います。他の地域の子もたくさん参加してほしいと思っています。」すると、別の委員の方が「子どもは、地域の宝です。」と力強くおっしゃった言葉が私の心に響きました。祭り当日は天候にも恵まれ、委員の方々の思いが通じ、様々な地域から、お父さんやお母さん、子ども達、おじいちゃん、おばあちゃんもたくさん参加され、祭りを楽しんでいました。祭りは、大いに盛り上がり、活気に溢れていました。子ども達の歓声や笑顔が眩しいほどでした。

保育園の子ども達もチアダンスを観たり、飴拾いをしたり、子ども盆踊りにも参加し、楽しく踊っていました。地域の方々と触れ合い、交流をさせていただき大変嬉しく思いました。

これからも、保育園の子ども達が地域の方々とつながり、地域の中で見守られながら育っていくことを大切にしていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月27日(水)
担当者 すずらん保育園長 石間 利恵

おはようございます。すずらん保育園長の石間です。

保育園では、人材育成の一環として、中学生や高校生の職業体験を行っています。子ども達と一緒に遊びながら、生活習慣の促しや集団生活の約束を知らせる等、保育士の仕事の役割について学んでいます。

核家族化が進み、小さな子どもと交流する機会がない中で、園児と実際に遊び、子ども達が声をかけてくれることや側に来てくれるのが何よりうれしく、お世話をすることは、学生さん達にとって、職業選択の他にも良い経験となっているようです。自分達が目の前のことに集中しがちでも、保育士は、全体を見ながら子ども達一人ひとりの話に耳を傾け、言葉を返し、時には見守り、待ってあげるなど個々を大切にしていることや子ども達が楽しく安心して過ごせるように、みんなで目を配っていることを、体験を通して知り、子どもと関わる仕事に対するの興味がさらに強くなったと聞きます。また、中には、自分が保育園や幼稚園に通っていた時に、将来の夢として、先生のようになりたいという思いがあり、体験を通し、自分達も同じように大切にに関わりを持っていてくれたことを実感することができ、改めてやりがいのある職業であると思ったとの声が聞かれました。

その後、中には実習生として学び、保育士として仕事についてくれる人もおり、人が育つために長い年月が必要であることを実感します。今後、より多くの学生さんに、保育に興味を持ってもらうだけでなく、次世代を担う子ども達をリードする人として育ってくれるように、職業体験を通し、アドバイスをしながら人材育成を行っていかれたらと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月28日(木)
担当者 稲穂保育園長 大内 文子

おはようございます。稲穂保育園長の大内です。

私は、今年の1月にファンタジーグループの研修を受けました。ほとんどの方がすでに参加されていると思いますが、1枚の大きな白い紙に、指を使って皆で絵を描いていくあの研修です。

仕事柄、絵を描くことには慣れているのですが、初めて会った人たちと一緒に描くとなると話しは別。まず私が考えたことは、他の人の邪魔にならないようにピンク、水色等の柔らかい色を使うこと。

しばらくすると右側から黄緑色、左側からは赤色、この辺までは私も想定内でしたが、次に上の方からやって来たのは黒。黒を塗るなんて私には全く無い発想だったので、とにかくびっくりです。その後も無言のやり取りが続き、無事にひとつの作品が完成。共通の経験を通じて、絵だけではなくグループも何となくひとつにまとまった感じがしました。

研修を終えて私は、仕事も同じだなと考えました。赤でも黒でも一人ひとりの個性を決して潰すことなくまずは認め、皆でアイデアを出し合い、意見を交わし、職場という大きなキャンパスに向かって皆で様々な色を付けていく。自分を出したり、時には引っ込めたりする中で、互いを理解し目的に向かって進んでいく。人は自分を認めてもらえる場所で、持てる力以上のことを発揮できるのではないかと思います。

保育園では、子どもたちも保護者も皆一人ひとり違います。そこが楽しくもあり、また大変な所なのですが。でも、その違う所を大いに楽しみながら、これからも仕事をしていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年9月29日(金)
担当者 庶務課長 中居 直人

おはようございます。建設部庶務課長の中居です。

朝のスピーチも2度目となりましたので、今回は、仕事を離れて自分の趣味とい
いますか、道楽についてお話したいと思います。私は、子どもの頃から旅行をする
ことが好きでありました。私の母が福島県出身で母方の親類も関東、東海地区など
におり、そのおかげで毎年の様に旅行に連れて行ってもらったこと。また、両親の
考えで小学6年の時に自分で切符の手配など行い、母の実家福島県いわき市まで一
人で行くということを体験させてもらったこと。これらのことが自分を旅行好きに
したのだと思っています。40数年前、帯広駅のみどりの窓口に一晩じゅう並んで
切符を買ったこと、青函連絡船に乗船するため、ゆれる列車の中で乗船名簿に記入
をしたこと、函館駅の棧橋を大きな荷物を抱えて一生懸命走ったことなど、とても
懐かしく思い出します。今の旅行は、飛行機が主流となり、かつての旅行とは随分
と様変わりをしてしまいましたが、何かを成し遂げる喜びを味わったのは、この時
が初めてであった様に思います。私は、旅行の楽しみはプランを立てている時から
始まっていると思います。行き先や経由先に思いを馳せて旅行のプランを立ててい
る時が、実は最も楽しいひと時であり、仕事のストレスも忘れさせてもらえる至福
の時であると思っています。勿論、旅行に行っているときも楽しいことは楽しいの
ですが、一方で終了へのカウントダウンが始まったという様にも感じてしまいま
す。取り留めのない話となってしまいましたが、是非たまには仕事を忘れ、旅行先
で出会う人たちとのふれあいを求めて旅行のプランを立ててみてはいかがでしょうか？
大いにお勧めします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。